

## 【学んだこと】

### 《国際協力の潮流・考え方》

- SDGs の 17 個の目標
- 「障害」の認識(国連障がい者権利条約から)
- 当たり前のことではあるが、障害を持つ人は障害を持たない人より生活の中で、できないことは多いけど、彼らだって充実した、楽しい生活をしたい気持ちは変わらないということ。

### 《WAFCA の組織運営》

- WAFCA の目標
- 活動概要
- WAFCA がどのようにして支援の対象を探しているのか
- 車いすが海外でどれだけの需要があるか
- 車いすをどのように、海外に渡しているか
- 決められた予算の中でうまく回していること

### 《WAFCA の現場活動》

- 現場でのコミュニケーションの必要性
- 車いすを支援した後のアフターケア
- WAFCA がどのように顧客に車いすを渡しているか。(自宅訪問など)
- WAFCA が車いすをあげるだけでなく、それを使うための環境も整えていること
- 家庭内の問題が子供の教育、リハビリのバリアになるということ
- ただ渡すだけでなく、自宅訪問や家族構成など、少しの間滞在して調べていき、それにあった支援の仕方をしている

## 【社会問題に取りくむにあたって求められると感じた能力】

### 《現場において》

- 海外の日本と比べて劣悪な環境でも耐えられる精神力
- 行動力
- 現場を知ること
  - ☞相手のニーズに合ったものを提供するため
- 支援を必要としている人とその家族、地域の関係性
- 言語力(自分で直接コミュニケーションを取ったり話し合えたりする力)
- フィールドワークの能力
- 観察力(現地へ赴いた際にその状況を正しく把握するため)

### 《組織を立ち上げるにあたって》

- 継続力
- 支援を行うときの計画性
- 人脈(活動を立ち上げる時、活動を続ける為の人手・後ろ盾してくれるモノ)

## 【気になったこと】

### 《WAFCA の活動動機》

- なぜ車いす支援を始めたのか
- なぜ敢えて三地域なのか

### 《WAFCA の活動内容・現地》

- 現地の WAFCA の日々の活動
- どれくらいの頻度で受給者と連絡を取っているのか
- 家庭内の問題をどのように聞き出しているか
- タイ・インドネシアでのコミュニケーションはどのようにしているか

### 《支援の資本》

- 車椅子の製作費はどうしているのか
- 車椅子を支援する家庭からは代金をもらっているのか
- どれくらいお金が動いているのか(渡航費、活動費用、車椅子の値段)
- 活動するにあたってどのようにお金を集めているのか(募金活動の仕方など…)